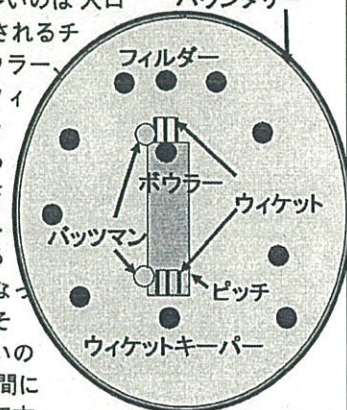




バスラ日誌（5月9日）

- 1 常日頃、英軍の人達がテレビを見て、一喜一憂しているクリケットについて、英軍の人に聞いたリインターネットで調べたりした内容を紹介したい。クリケットはイギリスで発祥した野球に似たスポーツで、サッカーに次いで2番目に競技人口が多いスポーツである（競技人口が多いのは人口 バウンダリー 大国のインドで人気があるのが影響している）。ゲームは11人で構成されるチームが攻撃側と守備側に分かれて対戦する。守備側はボールを投げるボウラー、それを受けるウィケットキーパー、その他の9人はフィールダーとしてフィールドの各所に配置する。攻撃側は、ウィケットの手前に一人ずつ、バッツマンとして配置につき、残りは成り行きを見守る。ボウラーは片側からウィケット目掛けてボールをワンバウンドで投球する。ウィケットが倒されるとバッツマンはアウト（アウトになるのは、投球がウィケットを倒した場合、打球をノーバウンドで捕球された場合、バッツマンが走っている間にボールがウィケットに戻ってきてウィケットを倒された場合等）になってしまうので、それを阻止すべくバットを用いてそれをブロックする。それと同時に、ボールを速くまで打ち（野球のようにファールゾーンはないので、打者の左右後ろに打ってもよい）、ボールがピッチから離れている間に二人いるそれぞれのバッツマンが相方の側のウィケットの所まで走り、双方 160m×140mの芝生のグラウンドが到達すると1得点（ラン）が入る。余裕があるならば、1往復、1往復以上してもよい。なお、走らなくてもバウンドしてバウンダリーを越えると4ラン、飛球で越えると6ラン点数が入る。また、走ってもアウトになると判断した場合は走らなくても良い。アウトになったバッツマンはチームの別の人と交代する。攻撃側が10人アウトになった時点で攻撃が終了し、攻守が入れ替わる。攻撃と守備をそれぞれ2回終了した時点で獲得したランの数が多い方が勝ちとなる。通常1試合に3～5日要する気の長いスポーツである。



- 2 本日快晴。バスラ、極めて健康。